



5月度の御書

けんぶつ みらい き 「顕仏未来記」

御文

は、浅きを去って深きに就く
は、丈夫の心なり。

(御書新版612ページ、御書全集509ページ)

意味

浅い教えを捨てて深い教えを採用することは、勇者の心である。

がんばった先に「勇者への道」はある

みんな、こんにちは！ ライオン博士のキング君だよ！
今日は、面白そうなゲームを持ってきたよ。タイトルは「Road to The Lion King～勇者への道～」。いっしょにやろう！ スイッチ、オン！

《パンパカパーン♪ ようこそ。ここは、勇者を目指すチャレンジャーが集まる世界です。ぼう険に出発しましょう》
ワクワク！ いったい何が出てくるのかな？ 進んでみよう。

《分かれ道です。どちらを選びますか？

A：浅い道 B：深い道》

なに～っ！ 迷っちゃうね。どちらがゴールに近いのかな。「浅い道」の方が、歩きやすくて、障がいも少ないみたいだよ。

でも、待って。「深い道」の方に、前に進めず困っている人が見えるよ。山あり谷ありで、けわしい道だけど、あの人を放っておけないね。いっしょに勇者になろう！ よし、「B：深い道」を選たく！

《「深い道」でたくさんの試練を経験したあなたは勇者としてレベルアップしました。出会った人を助け、ともに成長できたあなたはさらにレベルアップしました。パンパカパーン♪》

やったー！ 難しいことにチャレンジする勇氣、自分がクリアするだけでなく、ほかの人も思いやる気持ちが、勇者として大事な心なんだね。

日蓮大聖人は、伝教大師の「浅い教えを捨てて深い教えを採用することは、勇者の心である」という言葉を教えてくれたよ。

教えの深さは、ただの一人も置き去りにすることなく、世界中の全員を幸せにできるかどうかで決まる。その「深い教え」が、南無妙法蓮華經と唱える信心なんだ。大聖人は、世界中の人を幸せにするとちかい、生きぬいた、まさに勇者だ。そして、その大聖人に続いた創価の先せんばいたち、お父さんやお母さんも、最高にかっこいい勇者なんだよ。

池田先生は「『創価』とは、『価値を創造する力』のことです。何があっても負けないで、新たな希望の道をつくり開く力です」と語られたよ。

ボクたちのぼう険は続く。もし、みんなの夢や目標が難しく迷うことがあっても、がんばった先はきっと「勇者への道」につながっているはず！